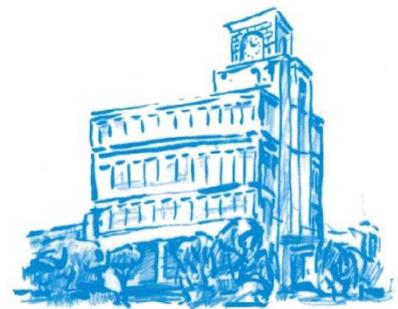


切れ目のない教育を目指して

伊丹市立総合教育センター
所長 山下 拓志郎

みなさんをご自身の幼児期のことを覚えていますか。私は、幼稚園で竹馬に夢中になり、足の皮がめくれたことを鮮明に覚えています。このように幼い頃のことは、学びや生活の基盤として、一人一人の心の中に残っています。それが、「幼児期は、人格の基礎が培われる極めて重要な時期だ」と言われる所以であり、幼児期の学びや体験を通して得た「主体性」や「協働性」などの非認知能力は、将来の人生のエンジンとなるのです。



そのようなことから、毎月実施している指導主事の研修では、10月は、幼児教育について研修しました。最初に、子どもたちが、決められたルール内で、いかに高く箱を積み上げるかを競うという動画を視聴しました。友だちと協力し、夢中になって試行錯誤しながら箱を高く積み上げようとする幼児の姿や、保育者のじっと見守る姿勢がとても印象に残りました。幼児期の教育では、「遊び」を通して、子ども自身の考える力や主体性、協働性などを伸ばそうとしていることがよく分かりました。

子どもたちが興味関心を持ち、夢中になれる環境を作り、その中で、主体性や協働性を育むことは、義務教育における単元づくりにおいても同じです。例えば、国語の教科書には、自らの興味関心に応じて、課題を解決しながら学びを進める単元があります。全国学力・学習状況調査においても、課題解決型の単元をイメージした問題が出題されています。

このようなことから、義務教育における「学び」は、幼児期の「学び」をリセットして行うのではなく、連綿とつなげる必要があります。文部科学省が、5歳児と小学1年生の2年間を「架け橋期」と称し、幼児期の学びと学童期の学びをつなごうとしているのは、まさにその視点に立つものです。

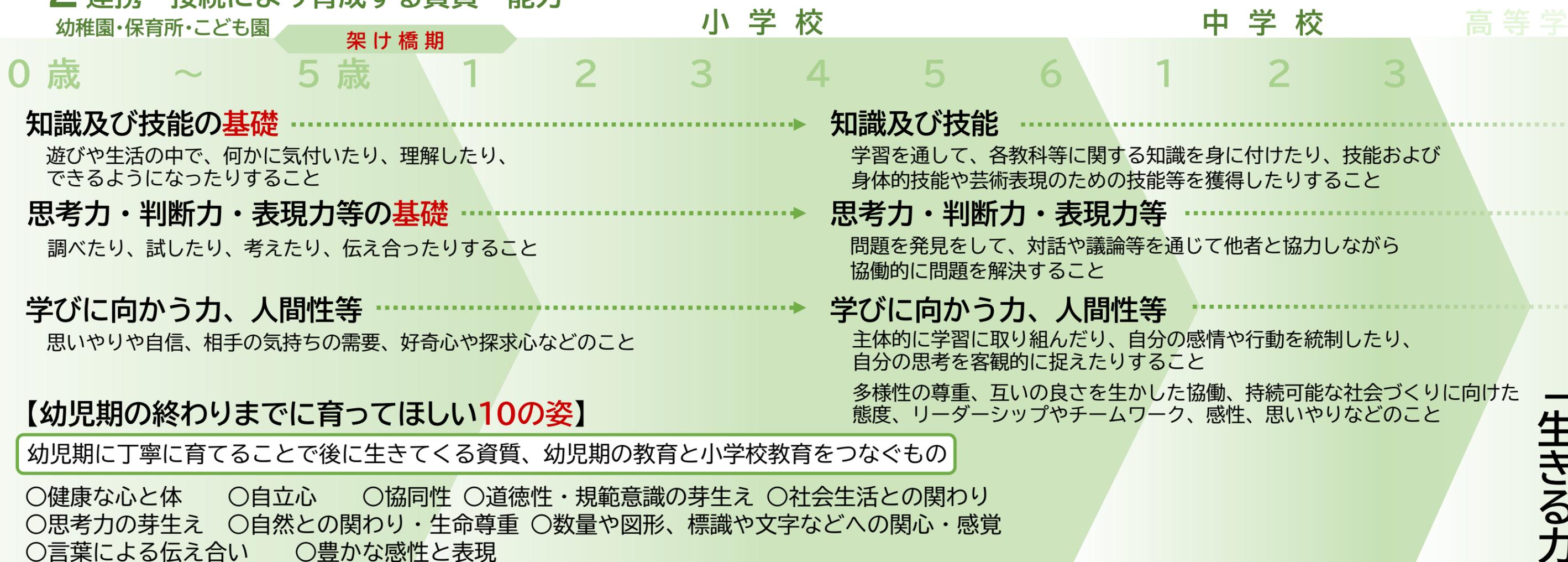
教育に関わる大人が学びの連続性を大切にしてこそ、子どもたちは、環境の変化に戸惑うことなく、伸び伸びと成長していくことができるのです。

幼小中の連携・接続について

1 校種間の円滑な連携・接続のポイント

- ①【幼児期と小学校】 「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を手掛かりとしながら、幼小それぞれにおいて、**架け橋期**（年長～小学1年生）を意識したカリキュラムを作成し、子どもたちが主体的に自己を発揮しながら学びに向かうように工夫する。
- ②【小学校と中学校】 いわゆる「中1ギャップ」と呼ばれる問題の解消に向けて、小学校高学年から中学校入学後までの期間に着目して生徒指導上、学習指導上の情報を共有し、学校間の連携・接続をはかる。

2 連携・接続により育成する資質・能力



幼児期の教育・義務教育を通じた「生きる力」の育成

3 連携・接続の具体例

幼稚園・保育所・こども園と小学校

- 保育・授業の相互参観 ○研究会等への教員相互の出席
- 幼稚園での小学校教員による授業
- 保育や授業を通じた子どもたちの交流 など

小学校と中学校

- 学校運営協議会などの合同開催
- 各学校の教育目標・教育課程編成方針などの共有
- 教職員の合同研修 ○同一中学校区での保護者間の連携、交流など



今年度に開催される、公開保育研究会・研究発表会をご紹介します。
各校種の垣根を越え、「教育の一貫性・連続性」「校種間の円滑な接続」を視点として参加してみたいかがでしょうか。
お申込み等詳細につきましては、各校からの通知をご覧ください。

11/7(火) 13:45~16:45

東中学校
研究発表会

【研究主題】
確かな学力を身につけ、
主体的に行動できる生徒の育成
～ねらい・振り返りを明確にし、
学習意欲を高める授業づくり～

11/17(金) 9:00~16:45

伊丹幼稚園
公開保育研究会

【研究テーマ】
主体性を尊重し、支える保育の創造
～自分で考え決定して
行動するための環境の構成～

11/17(金) 13:35~16:45

荻野小学校
研究発表会

【研究主題】
自らすすんで粘り強く学ぶ子ども
～学ぶ必然性のある授業デザインを中心に～

11/22(水) 13:00~16:45

桜台小学校
研究発表会

【研究主題】
自ら進んで学びを
積み重ねていく子どもの育成
～主体的・対話的で深い学びの実現をめざして～

11/29(水) 13:20~16:45

笹原中学校
研究発表会

【研究主題】
主体的・対話的で深い学びを
促すプロジェクト型学習の創造
～思考力・判断力・表現力の育成を目指して～

11/30(木) 9:00~16:45

おぎの幼稚園
公開保育研究会

【研究テーマ】
遊び込む子どもの育成
～遊び込む子どもの姿を捉えることから～

2/6(火) 13:10~16:30

鈴原小学校
研究発表会

【研究主題】
対話的で深い学びに
向かう子どもの育成
～問い返しをとり入れた
授業のユニバーサルデザイン化～

2/7(水) 13:20~16:45

南小学校
研究発表会

【研究主題】
つながりを大切にし、
学びを深め合える子どもの育成
～つながる楽しさを子どもが実感し、
主体的に学習する授業づくり～

2/9(金) 13:35~16:45

摂陽小学校
研究発表会

【研究主題】
仲間とともに主体的に学ぶ、
自尊心を持った児童の育成
～道徳的価値を深めるための
議論のコーディネート～

発行	伊丹市立総合教育センター	<教育相談>
所在地	〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番	電話 072-772-6171 (電話相談)
	TEL 072-780-2480	072-780-2484 (来所相談)
	FAX 072-780-2482	お子様に関する様々な悩みや課題、
開館日	月・火・木・金：9:00~21:00	問題等の相談に応じています。
	水・土：9:00~17:00	(来所・電話相談)
休館日	日曜・祝日・年末・年始	月・火・木・金：9:00~18:00
	総合教育センターHP https://www.itami.ed.jp	水・土：9:00~17:00

「振り返りA I分析(β版)」の詳細については、スクールタクトHP
<https://help.schooltakt.com/ja/articles/8320078-%E6%8C%AF%E3%82%8A%E8%BF%94%E3%82%8A%E5%88%86%E6%9E%90-%CE%B2%E7%89%88> をご覧ください。

令和5年度連載(ICT活用事例集)

第8回 SchoolTakt「振り返りA I分析(β版)」の活用

ねらい

・振り返りをA Iに分析させることにより、振り返りの内容の充実や、評価にかかる時間の短縮を図る。

活用効果

・振り返りの記述を一覧で表示することができ、一定の基準で評価をすることができる。

・A Iにより事実、感想、考察(要因分析)、考察(仮説設定)、結論の5観点で抽出されるため、児童生徒も自分の振り返りの記述を自ら評価することができ、振り返りの仕方の向上が期待できる。

